

2024年度 実施概要

事業8年目を迎える本年度は、豊かな海づくりに取り組む熱源とタッグを組み、身近な場所や生き物を題材に、海への関心が低い方も意識した展開を行いました。兵庫の食文化に欠かせない「タコ」を題材に兵庫の海の課題の1つ“栄養塩不足”とその改善施策について学んだオリジナル体験学習イベントのほか、水質浄化が進む兵庫運河で行われている“真珠貝プロジェクト”、人気水族館の職員が作った“美味しい”地魚図鑑、団地の一室で行われている“バナメイエビの養殖”、地域課題解決に取り組む高校生たちの追っかけ取材など、地域に根差した取り組みをフォーカスし情報発信を行ったことで、県民の海への関心を喚起し、2024年の調査で明らかになった県民の「海への愛着」や「海に関する経験」の向上にも寄与できたと考えます。また次年度の取り組みを見据えて高校生たちとの関係構築にも取り組むことができました。

オリジナル体験学習イベント

タコの漁獲量減少の謎に迫れ！海のバンキシャ2024

兵庫(関西)の食文化に欠かせない身近な存在である“タコ”を題材に、明石海峡を取り巻く環境の変化とタコの漁獲量減少を食い止めるための様々な施策を体験しながら学ぶため、子どもたちが記者となり明石市・淡路市を舞台に1泊2日の体験取材を実施しました。教育委員会や地元媒体等の協力により、応募者は昨年度よりも増加し目標を超える283名を達成することができました。1日目は明石市内で明石海峡界隈の水質・底泥調査やセリ見学、干しダコづくりなどを通じて、明石の海の現状を学びました。2日目は淡路市で、豊かな海づくりのために兵庫県で注力展開されている“ため池のかいぼり”を体験取材。専門家だけでなくかいぼりに携わる地域住民の方にもご協力いただき、子どもたちがインタビューを行いました。最後に学びを号外新聞としてまとめ、発表しました。拡散施策として号外新聞にも掲載した4コマ漫画を明石の老舗企業西海醤油と連携し、「たこカレー」のオリジナルラベルを制作。11月5日から販売を開始しました。



WEB運営

ニュースサイトPV数 155,970PV、
ニュースサイト記事数 92記事達成。
その他、自主的なSNS運営としてX
を運営し、情報発信に努めました。

海の取材動画

海に関するニュースやプロジェクト本体
の活動、一般助成事業の活動を取
材し、計38本放送しました。

プロジェクト訴求動画

プロジェクト本体の山場に合わせた連携
広報として、海ごみゼロウィーク・海と灯台
ウィーク・海ごちそうウィークに関する訴
求動画を制作し、266本放送しました。

これまでの課題と今後の展望

課題 1

広報の強化などによりイベントへの参加
希望者（応募者）は増加傾向にある
ものの参加できる人数に限りがある…

課題 2

海の課題に取り組む中高生はいるも
のの、プロフェッショナルとの接点やサ
ポートが不足していた…



意欲の高い応募者の方の学びもサ
ポートするため、個人でも取り組める
サポートツールを制作・展開します！



中高生連携を強化し、事務局がハ
ブとなりながら地域のプロフェッショ
ナルと引き合わせることで、次世代
リーダーの育成に注力します！